

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 7 月 24 日 (2008.7.24)

【公開番号】特開 2006-121755 (P2006-121755A)

【公開日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報 2006-018

【出願番号】特願 2006-5067 (P2006-5067)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/56 Z

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 11 日 (2008.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

N 個の情報セグメントよりなる情報セグメントセットの周期的な伝送を受信する方法であって、

前記 N 個の情報セグメントセット全体の伝送を、繰り返し受信するステップと、

有効なセグメントがまだストアされていない各情報セグメントを処理するステップであって、その情報セグメントが有効か無効かを識別することと、

前記有効な情報セグメントをストアするステップと、

前記セグメントの N 個の異なる情報セグメントがストアされているか否かを判定するステップと、

当該情報セグメントセットの N 個の異なる情報セグメントがストアされていないと判定した場合に、前記受信するステップ、前記処理するステップ、前記ストアするステップおよび前記判定するステップを繰り返すステップと、

N 個の異なる情報セグメントがストアされた後、前記ストアされた N 個の異なる情報セグメントの情報セグメントセットをさらに処理するため転送するステップと

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記処理するステップは、

各情報セグメントとともに含まれるエラーコードを用いて、前記情報セグメントのいずれにおいてもエラーを検出するステップと、

前記エラーが検出された各情報セグメントのセグメント番号を判断するステップと

をさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 において、各情報セグメントは、前記情報セグメントに含まれる情報を示す V A L U E タグを含むことを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 3 において、最初の伝送と、後続する伝送とは、等しい V A L U E タグを有することを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 4 において、前記ストアされた有効な情報セグメントは、前記最初の伝送と前記後続する伝送において V A L U E タグが等しくない場合に、削除されることを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 において、前記情報セグメントは、B C C H - S I B (broadcast control channel system information block) を含むことを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 において、前記周期的な伝送は、予め定めた繰り返しレートの後で受信されることを特徴とする方法。

【請求項 8】

N 個の情報セグメントよりなる情報セグメントセットの周期的な伝送を含む通信を、受信し処理する U E (user equipment) であって、

前記 N 個の情報セグメントセットの全体の伝送を、繰り返し受信するように構成されたレシーバと、

有効なセグメントがまだストアされていない各情報セグメントを処理して、前記情報セグメントが有効か無効かを識別するように構成されたプロセッサと、

前記有効な情報セグメントをストアするように構成されたメモリと
を備え、

前記レシーバは、

前記 N 個の情報セグメントよりなる情報セグメントセット全体の後続する伝送を受信したときに、以前ストアされなかった情報セグメントのみを受信および処理し、

各情報セグメントが有効かまたは無効かを識別し、

有効な情報セグメントをストアし、

前記 N 個の情報セグメントセットの全ての情報セグメントがストアされるまで、前記 N 個の情報セグメントセット全体の後続する伝送を、繰り返し受信するように構成されていること

を特徴とする U E。

【請求項 9】

請求項 8 において、前記レシーバは、

各情報セグメントとともに含まれるエラーコードを用いて、前記情報セグメントのいずれにおいてもセグメント番号を検出し、

エラーが検出された各情報セグメントのセグメント番号を決定するようさらに構成されていることを特徴とする U E。

【請求項 10】

請求項 8 において、各情報セグメントは、前記情報セグメントに含まれる情報を示す V A L U E タグを含むことを特徴とする U E。

【請求項 11】

請求項 10 において、前記第 1 回目の伝送と前記後続する伝送は、等しい V A L U E タグを有することを特徴とする U E。

【請求項 12】

請求項 11 において、前記第 1 回目の伝送と前記後続する伝送が等しくない V A L U E タグを有する場合には、前記ストアされた有効な情報セグメントが削除されることを特徴とする U E。

【請求項 13】

請求項 8 において、前記情報セグメントは、B C C H - S I B (broadcast control channel system information block) を含むことを特徴とする U E。

【請求項 14】

請求項 8 において、前記周期的な伝送は、予め定めた繰り返しレートの後で受信されることを特徴とする U E。

【請求項 15】

情報セグメントセットの周期的な伝送を含む受信された通信を処理する方法であって、
情報セグメントセットの第1回目の伝送の全体を受信するステップと、
各情報セグメントが有効か無効かを識別するために処理するステップと、
前記情報セグメントセットの情報セグメントのうち有効な情報セグメントをストアする
ステップと、

前記情報セグメントセットの情報セグメントのうちの無効な情報セグメントに対して、
後続する少なくとも1回の情報セグメントセットの伝送の全体を受信し、その伝送におい
て、以前に無効と識別された情報セグメントに対応する情報セグメントのみを処理し、お
よび有効と識別された情報セグメントをストアするステップと、

前記情報セグメントセットの全ての情報セグメントが有効と識別されストアされるまで
、前記後続する情報セグメントセットの伝送の全体を受信し、処理しおよびストアする前
記ステップを繰り返すステップと

を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 16】

請求項 15 において、前記処理するステップは、

各情報セグメントとともに含まれるエラーコードを用いて、いずれの前記情報セグメン
トにおいてもエラーを検出するステップと、

エラーが検出された各情報セグメントのセグメント番号を決定するステップと
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 17】

請求項 15 において、各情報セグメントは、前記情報セグメントに含まれる情報を示す
V A L U E タグを含むことを特徴とする方法。

【請求項 18】

請求項 17 において、前記第1回目の伝送と前記後続する伝送は、等しい V A L U E タ
グを有することを特徴とする方法。

【請求項 19】

請求項 18 において、前記第1回目の伝送と前記後続する伝送が等しくない V A L U E
タグを有する場合に、前記有効な情報セグメントが削除されることを特徴とする方法。

【請求項 20】

請求項 15 において、前記情報セグメントは、B C C H - S I B (broadcast control
channel system information block) を含むことを特徴とする方法。

【請求項 21】

請求項 15 において、前記周期的な伝送は、予め定めた繰り返しレートの後で受信され
ることを特徴とする方法。

【請求項 22】

N 個の情報セグメントのセットの周期的伝送を受信する方法であって、

N 個の情報セグメントのセットの全体の伝送を受信するステップと、

前記セグメントが有効である無効であるかを決定するために各セグメントを処理するス
テップと、

前記有効なセグメントをストアするステップと、

前記セットの N 個の異なるセグメントがストアされているかどうかを決定するステッ
プと、

前記セットの N 個の異なるセグメントがストアされていない場合は、

無効であるセグメントを決定するステップと、

前記 N 個の情報セグメントセットの全体の引き続く伝送を受信するステップと、

前記決定された無効であるセグメントをデコードするステップと、

前記デコードされたセグメントが有効であるかどうかを決定するステップと、

前記有効なセグメントをストアするステップと、

すべての N 個のセグメントが有効に受信されるまで、無効であるセグメントを決定す

る前記ステップ、前記N個の情報セグメントセットの全体の引き続く伝送を受信する前記ステップ、前記決定された無効であるセグメントをデコードする前記ステップ、前記デコードされたセグメントが有効であるかどうかを決定する前記ステップおよび前記有効なセグメントをストアする前記ステップを繰り返すステップと、

N個の異なるセグメントが受信された後で、前記ストアされたN個の異なる情報セグメントの情報セグメントセットをさらに処理するため転送するステップと
を備えることを特徴とする方法。

【請求項23】

前記処理するステップは、

前記情報セグメントにそれぞれ含まれるエラーコードを用いて情報セグメントのエラーを検出するステップと、

前記エラーが検出された情報セグメントのそれぞれのセグメント番号を判断するステップと

をさらに含むことを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項24】

前記情報セグメントは、情報セグメントに含まれる情報を示すVALUEタグを含むことを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項25】

最初の伝送と、後続する伝送とは、等しいVALUEタグを有することを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項26】

前記ストアされた有効な情報セグメントは、前記最初の伝送と前記後続する伝送においてVALUEタグが等しくない場合に、削除されることを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項27】

前記情報セグメントは、B C C H - S I B (broadcast control channel system information block)を含むことを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項28】

前記周期的な伝送は、予め定めた繰り返しレートの後で受信されることを特徴とする請求項22に記載の方法。

【請求項29】

前記引き続くN情報セグメントのセットの全体の伝送を各々に対して、前記決定された無効であるセグメントを受信しおよびデコードするためだけに、レイヤ1へ通知するステップをさらに備えることを特徴とする請求項22に記載の方法。